

【片品村】  
校務 DX 計画

1. 校務 DX の現状と課題

令和 6 年度「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果によれば、当村の現状は、利根沼田地区の平均と同程度、群馬県全体の平均以下となっている。

教員と保護者間、また学校内の連絡のデジタル化については、校務支援システムの整備によりデジタル化が進む一方、教員と児童生徒間の連絡、また FAX や押印の廃止等については、依然として紙ベースの業務が根強く残っており、改善の余地がある。

2. 校務 DX の課題解決、次世代の校務デジタル化

令和 7 年度より、県域共同調達で学校デジタル基盤(校務支援システムと汎用クラウドツール)の導入が検討されており、当村では令和 8 年度の参画に向けて検討を行う予定である。

県域のデジタル基盤に参画することで、教員と保護者間、学校内、教員と児童生徒間のデジタル化の基盤が整備されるとともに、県域で活用事例や先進事例が共有され、当村でもそれらを取り入れることで、教員の多忙化解消等に資するためのデジタル活用を積極的に進めたい。

また、FAX や押印の見直しを進めるとともに、セキュリティポリシーの制定や、要録の電子保管等の課題について、県域の事例を参考として検討を深める。